

# ごとう通信

第 162 号

平成 26 年 6 月 1 日

平均するといいい気候ですねえ。あくまでも平均するのですが。現実には寒暖の差が激しく、適応できない！なんて声も聞きました。特に高齢の方から。体温調整能力も年齢とともに変わってくるのでしょうか。

さあ、これからはもっともっと暑い夏が来ます。昨年也大変でしたから今年は…と言うと、今のところ関東は冷夏の予想らしいです。ちよつと拍子抜け。もちろん人間にとつては大歓迎ですが、作物などのことを考えると手放しでは喜べません。適度に暑くて適度に雨が降る。そんな気象を祈りたいです。

さて、先日、新しいメガネを作ります。

した。まあ、年相応に老眼が進んでいるのですが、あまりにも診療中にメガネの掛け外しをしなければならず、本当にうつつとうしいと思っていました。ちよつとお口の中を見ようとしてもメガネをしていると見えないのです。外したまま作業すると目の中に水しぶきが入ってきたり…本当に苦勞していました。さらに悔しいことに、治療以外で困ることは全くないんです。皮肉ですね。

さて、メガネ屋に行つて検査をしてもらったところ、特に老眼が進行したわけではなく、メガネの特性として少し離れたところ（数十センチ）以降が見えるようになっていたことでした。基本的にそれで日常生活には支障はないのですが、仕事上、もう少し手元が見やすい設定のもの

を作られてはどうかと提案されました。それでいくつか検査してもらい、ついに完成！中近両用メガネ。残念ながら「中」「近」の機能が入るので、レンズはある程度の大きさが必要で、かっこいいフレームは選択できませんでした。



ただ、確かに見える！手元の作業をメガネを外さなくても見えるのです。ところが、手元を見るときに眼鏡を外す癖がついてしまいい、ついつい外そうとしてしまいます。しかも、外した方が見やすいこともあるのです。不思議。

と言うことは、旧メガネ、新メガネ、そして外した時、それぞれのケースに合わせて変えなくてはならないと